特別展

「Beyond Creation –永澤陽一の創造と革新」

2025年9月13日(土)～11月9日(日)

企画概要

永澤陽一は、1980年代よりファッションデザイナーとして時代の先端に挑み続けました。パリでTOKIO KUMAGAIのチーフデザイナーとして活躍し、帰国後に独立して自身のブランド「YOICHI NAGASAWA」で東京コレクション、パリコレクションに参加。特殊な素材や技術に挑戦し、独自の世界観を巧みに表現し人々を驚かせ続けました。

さらには「無印良品」や「AEON」などの服飾部門のプロデュースにも手腕を発揮。その後も金沢美術工芸大学名誉客員教授、国際ファッション専門職大学教授・学部長として後進の指導にも尽力する他、国内外の展覧会に出展を続けています。

本展では神戸ファッション美術館に寄贈されたブランド発足当初からのコレクション作品の数々を展示。その稀有な発想の源流と創造性に焦点を当て、次世代のクリエイティビティに新たな火を灯すことを目指します。

展示内容

永澤氏の長年のコレクション作品を一堂に集め展示。創意工夫が美しく実装された、テクニックの数々を紹介します。

日常的なギンガムチェックの柄と花というテーマを、高度なパターン技術とプリント技術によって未来的な造形表現へと再編成した。

2003 春夏コレクション「乾いた風に花が咲いたよ」より

大地や森など自然の風景を写しとったムラ染めのライダーズジャケット。動きに合わせて揺れる羽根は鳥の飛翔そのものを映し出し、人間が古来「狩り」を通じて命と向き合ってきた記憶を重ねた。

2004-05 秋冬コレクション「狩り」より

髪のように細い合成繊維を編み込み、身体に沿わせて立体的なフォルムを作る。海を想起させる色彩を用い、光の加減で表情が変化するように設計。

2006 春夏コレクション「人魚姫」より

フランス衛兵隊（ガルド・フランセーズ）の宮廷制服を起点に、階級と秩序の象徴であった服飾言語を、現代の身体へと再編集した作品。

2006-07 年秋冬コレクション「GAZEL D' OR」より

パリに暮らしていた頃、蚤の市で出会った銀のスプーンから想起するノスタルジックな記憶や想像を、過去の美を拾う行為へと転換した。

2007春夏コレクション「銀のスプーン」より

人間が着用するはずの乗馬パンツを逆説的に馬が穿くという構造に置き換えた。生命体と衣服の境界を曖昧にし、装いを通して価値観を揺さぶる知的アクションである。

ジョッパーズパンツ《恐れと狂気》2008年

開催記念対談

「Beyond Creation ―ファッションの未来を語る」

本展の主役であるファッションデザイナー 永澤陽一氏と、国際ファッション専門職大学学長 近藤誠一氏をお招きし、ファッションの未来の可能性についてお話しいただきます。社会・文化・教育の視点から、これからのクリエイションを考察する貴重な機会です。

日　時：9月13日(土) 14時00分～15時30分
会　場：当館4階 第１セミナー室
定　員：80名(事前申込制) ※応募多数の場合は抽選
参加費：無料(要当日観覧券)
申込期間：8月20日(水)～8月30日(土)
※詳細ならびに申込方法は当館HPにてお知らせします。

永澤陽一　ファッションデザイナー
1957 年京都生まれ。パリ・オートクチュール協会公式カレンダーに選出され、1996 年より自身のブランド「YOICHI NAGASAWA」で パリコレクション公式スケジュールに参加。東京コレクションでも発表を重ね、毎日ファッション大賞受賞。「NO CONCEPT BUT GOOD SENSE」も主宰し、大手企業のブランディングやディレクションを多数手がける。国内外の美術館にて作品を発表。金沢美術工芸大学客員名誉教授。現在も国際ファッション専門職大学学部長として、長年にわたり後進の育成にも力を注ぐ。

近藤 誠一　国際ファッション専門職大学学長
1946 年神奈川県生まれ。1971 年東京大学教養学部卒業。1972 年外務省入省。1999 年 OECD（経済協力開発機構）事務次長。2006 年ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、2008 年駐デンマーク特命全権大使を経て 2010 ～ 2013 年文化庁長官。現在国際ファッション専門職大学学長、(公財)横浜市芸術文化振興財団理事長、(一社) 人文知応援フォーラム共同代表、至善館リベラルアーツセンター共同代表等。主な著書：『近藤誠一全集』Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ(かまくら春秋社) 等多数。

学芸員によるギャラリートーク

日　時：9月25日(木)、10月8日(水)、10月23日(木)
各日14時00分から約30分
会　場：当館1階　展示室
定　員：各日先着20名 (事前申込不要)
※当日13時から受付で整理券配布
参加費：無料(要当日観覧券)

同時開催

コレクション展「靴と服と時代」

ロココからアール・デコ、ディオール、
現代のYOICHI NAGASAWA のシューズまで、
美術館が所蔵する多様な足元の装いを
各時代の衣装とともに紹介します。

アール・デコ期に流行した
ストラップのついたヒール靴
(左)1930 年代 アメリカ
(中)1920 年代 アメリカ
(右)1920 年代 フランス

人工芝を素材にしたサンダル
永澤 陽一　1990 年代

特別展
「Beyond Creation –永澤陽一の創造と革新」

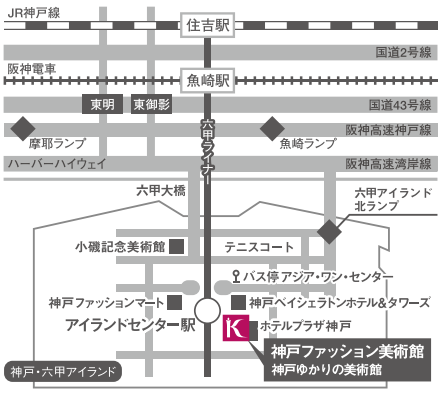
2025年 9月13日(土)～11月9日(日)

開館時間　10:00～18:00（入館は17:30まで）
休 館 日　月曜日、9月16日(火)、10月14日(火)、11月4日(火)
※ただし9月15日(月)、10月13日(月)、11月3日(月)は開館
観 覧 料　一般 1,000 (800)円
65歳以上・大学生 500 (400)円
高校生以下無料
※ 神戸市内在住の65歳以上の方は無料です。
※ カッコ内は有料入館者30名以上の割引料金です。
※ 神戸ゆかりの美術館、小磯記念美術館の当日入館券(半券)をお持ちの方は割引が受けられます。

主　　催：神戸ファッション美術館、神戸新聞社、毎日新聞社
後　　援：サンテレビジョン、ラジオ関西
協　　力：株式会社STIL、学校法人国際ファッション専門職大学
装飾協力：大阪樟蔭女子大学

〒658-0032　神戸市東灘区向洋町中 2-9-1
https://www.fashionmuseum.jp

お問い合わせ（広報担当）
TEL:　078-858-0050
FAX:　078-858-0058
Email: press@fashionmuseum.jp



アクセス

▸ **電車ご利用の場合**
JR「住吉駅」・阪神「魚崎駅」で六甲ライナーに乗換、「アイランドセンター駅」下車、南東徒歩3分

▸ **お車ご利用の場合**
阪神高速神戸線「摩耶」・「魚崎」ランプから約10分
阪神高速湾岸線「六甲アイランド北」ランプから約2分
三宮からハーバーハイウェイ経由約15分

画像データ申込書

神戸ファッション美術館
KOBE FASHION MUSEUM

特別展	Beyond Creation — 永澤陽一の創造と革新	お問い合わせ（広報担当） FAX：078-858-0058 E-mail：press@fashionmuseum.jp

本展の広報用画像を提供いたします。
申込書に必要事項をご記入のうえ、メールまたはFAXにてお申し込みください。

・ご希望の画像に ✓ をつけてください。
・キャプションを必ずご掲載ください。※キャプションは省略不可。
・WEB媒体に掲載の場合、画像を72dpi以内に設定のうえコピーガードを施し、本展終了後は画像の削除してください。
・基本情報、会期などの確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階でお送りいただきますようお願いいたします。
・ご使用後はデータを廃棄するとともに、掲載誌を当館宛にご送付ください。
・読者プレゼント用に招待券をご希望の場合、希望枚数をご記入ください。(10組20名様まで)

番号	画像キャプション
□1	2003春夏コレクション「乾いた風に花が咲いたよ」より／撮影：大石一男
□2	2004-05秋冬コレクション「狩り」より／撮影：大石一男
□3	2006春夏コレクション「人魚姫」より／撮影：大石一男
□4	2006-07秋冬コレクション「GAZELLE D'OR」より／撮影：大石一男
□5	2007春夏コレクション「銀のスプーン」より／撮影：大石一男
□6	ジョッパーズパンツ《恐れと狂気》2008年

貴社名	
ご担当者名	
部署／ご所属	
Email	@
ご連絡先	TEL　　FAX
貴媒体名	
媒体種別	新聞 ・ 雑誌 ・ ミニコミ ・ TV ・ ラジオ ・ その他（　　）
サイトURL	
掲載号	月号（　月　日号）／　月　日発売予定　　□WEBへの転載あり
プレゼント用 招待券	組　名分希望（10組20名様まで）　　□不要